



## 日本質的心理学会第20回大会優秀発表賞

日本質的心理学会第20回大会における下記の発表は、審査の結果、特に優秀と認められましたので表彰いたします。なお、甲乙つけがたく、委員長・副委員長の協議のもと、各部門ともに2つの発表を選出いたしましたことを申し添えます。

### 【口頭発表】

本岡 美保子【O-3】

乳児保育においてわらべうたによって生じる身体的同調  
—保育者であった筆者の経験をもとに—

加藤 誠也【O-4】

変容への抵抗感や拒否感はどのように縮減しうるのか？  
—変容的学習過程進捗の制動・停滞情態から脱する足場架け(scaffoldings)

### 【ポスター発表】

新井 素子【P-3】

レトリックから見た自傷行為  
—自己切創または皮膚むしりの経験者の語りの分析から—

石渡 美穂子【P-20】

身体的(不)協応関係における、人々と場の生成性の検討  
—浦河べてるの家でのオートエスノグラフィを通して

<以上、順不同・敬称略>

選出された発表者の方には2023年11月5日付の表彰状を作成し、贈呈いたします。

日本質的心理学会第20回大会 委員長 森岡 正芳  
(発表:2023年12月6日)